

# 東総支部・活動方針（案）

東総支部長 秋葉 吉男

## 《活動目標》

### 1. 支部で、学習・研修会の場の企画づくりを

聴覚障害者の暮らしや社会参加を守り、向上させるためにも支部の各地域協会との連携強化を図り、支部役員と各地域協会に呼びかけて、「モデル要綱」など手話通訳制度の学習会を設けるものとする。

### 2. モデル要綱について地域協会と共に取り組んでいこう

意志疎通支援事業の派遣「モデル要綱」に沿った手話通訳制度を各市町村行政において浸透し、各市域の格差をなくすよう、地域協会と学習会を開き、行政との交渉を進めるよう働きかけていきたい。

### 3. 老若男女が参加できるようなレクリエーション企画を設け、会員同士及び関係者と交流の場の設定を進めていく。

支部の複数以上の地域協会どうしの触れ合いの場を活用しながら、年齢や性別を問わず、誰でも楽しめるようなスポーツやレクリエーションの企画をたてて会員等の交流の場を設ける。

### 4. 新たな会員の掘り起こしと若手活動者の育成

平成24年度の最高の会員数（124名）と比べると、東総支部（110名）では、89%となっている。

しかし、100%以上を保っている協会が支部内5つの協会があることは褒めたい。

また、全日本ろうあ連盟の課されているノルマは身体障害者手帳所有の10%を基準としているので（支部で219人）、各市協会イベントに参加し説明する活動により、これまでの会員を維持しながら、更なる会員拡大を図りたい。

若いろう者は都会だけに住んでいるわけではない。海浜や山間部などの過疎地域にも何人かのろうあ青年がいる。彼らの掘り起こし、県

青年部活動につなぐことができるように、支部単位でフェイスツーフェイスの触れ合いから進めていく。行事などを通して交流の場を工夫して組み入れられるようにしたい。

#### 5. ろう重複障害者やろう高齢者の社会資源の整備に協力していく。

現在、東総支部の地域内に社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会が運営している地域活動支援センター「らいおん香取」があり、地域のろう重複障害者やろう高齢者（多くは未就学者）が利用者として通っている。「らいおん香取」の運営に協力するとともに「千葉県ろう重複障害者施設をつくる会」のブロック活動として、ろう重複障害者等の社会資源の整備や資金造成の面で、各市における街道カンパなどに取り組んでいく。

#### 6. 第38 関東ろう者大会及び千葉県団体対抗ソフトボール大会の運営を協力し、成功させよう。

2015年10月3日(土)～4日(日)に第38回関東ろう者体育大会を館山市に、また2015年10月下旬に千葉県団体対抗ソフトボール大会を八街市(予定)において開催されます。支部は地域連携を強化し、大会運営を協力し、成功させよう。

#### 《事業計画》

- ☆支部役員会：必要に応じて（年4回程度） 各市町輪番制  
地域協会の情報交換、県協会の行事への参加を進めていく。
- ☆支部評議員会：4月19日 大網白里市
- ☆県団体対抗ソフトボール大会：10月下旬 八街市(予定)  
大会の運営に協力する。
- ☆関東ろう者大会：10月3～4日 館山市  
大会の運営に協力する。
- ☆レクリエーション：5月24日 or 31日 佐倉市  
会員相互の交流及び会員拡大を目的として開催する。
- ☆義務研修会：4月19日 大網白里市  
教養を高め、知識を深めることを目的とする。
- ☆任意研修会：(未定)